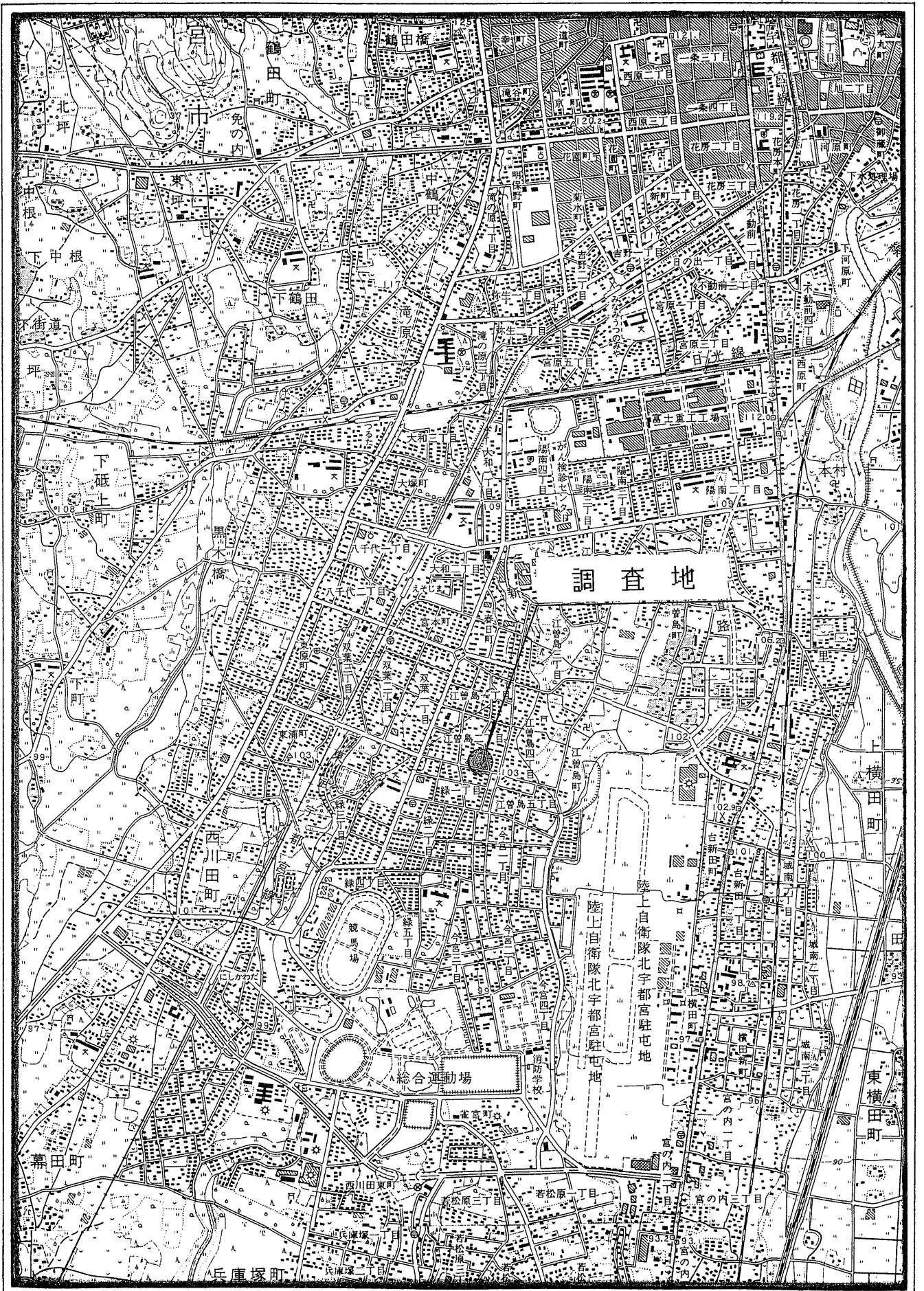
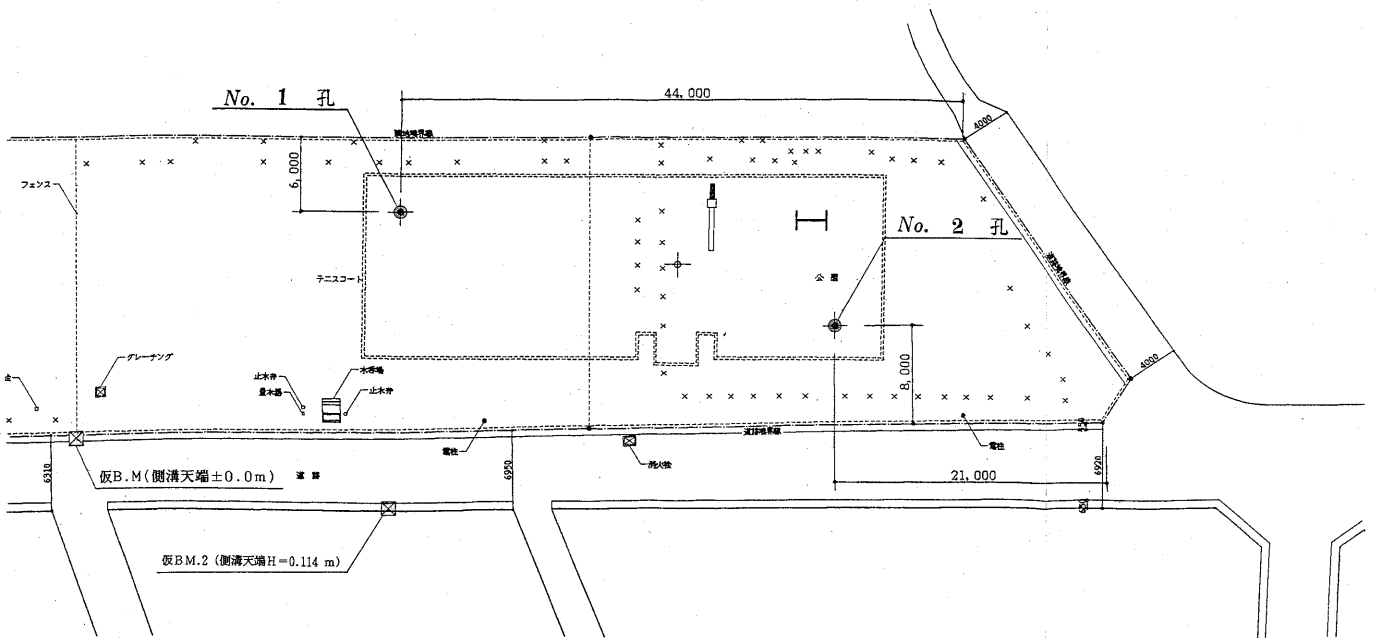


調査位置図

縮尺 1:25000



平面位置図 S=1:300



ボーリング柱状図

調査名 南地区学習等共用施設改築工事地質調査委託

ボーリングNo. 000000105-2

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2 孔	調査位置	宇都宮市江曾島2丁目2384		北緯	
発注機関	宇都宮市役所		調査期間	平成7年9月27日～7年10月5日		東経
調査業者名	バスキン工業株式会社 電話(0286-65-1201)	主任技師	現代場人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	-0.97m	角	180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種 試験機 エンジン
総掘進長	14.00m	度			ハンマー 落下用具	コーンブーリー
			エンジン	ヤンマー N F - 8 0 型	ポンプ	カノ V 6 - S 型

標高 (m)	層厚 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 番号	採取 方法	掘進 月 日	
								深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
-1.42	0.45	0.45	表土	茶褐	軟かい	上部0.2m砂、植生多い 以深シルト・ロームの混合土 炭カラ等の腐材混入、蒸干層 腐食が5.0m/m前後が主体 少量の砂分含む 高含水比	10/2 1.90	1.15	1	30	1	30					
-2.17	0.75	1.20	軽石	黄褐	非常に 軟かい	少量の腐植物混入 含水比・粘性上位 2.5m付近から以深やや硬くなる 下部粘土化している		2.15	1	25	2	35					
-4.07	1.90	3.10	ローム	茶褐	非常に 軟かい	3.9m付近まで色調灰色を呈し、 砂分が多くやや硬い 以深暗褐色に変化し、腐植物混入 5.0m付近腐植物特に多い 少量の砂分含む 含水比・粘性中位		2.50	2	2	2	6	30				
-6.97	2.90	6.00	粘土	灰 暗褐	軟かい 中位	3.9m付近まで色調灰色を呈し、 砂分が多くやや硬い 以深暗褐色に変化し、腐植物混入 5.0m付近腐植物特に多い 少量の砂分含む 含水比・粘性中位		3.15	2	2	2	6	30				
			砂礫	青灰 灰茶褐	密な 中位 非常に 密な	礫は径φ20~40m/mの亜円・ 亜角礫が主体 マトリックスは主に粗粒砂で充填 所々に径φ60~100m/m程度の 粗礫や玉石点在 6.3~6.5m間に砂層介在 7.3m付近から色調灰茶褐色に変 化 9.4m付近にコア長70mmの玉 石有り 9.9~10.5m間は特に砂分が多 い 以深粗礫、玉石多く点在する 12.3m付近で少量の遊泥有り 全体にやや崩れ易い		3.45	1	1	2	2	35				
								4.15	1	1	1	2	35				
								4.50	2	1	2	5	30				
								5.15	2	1	2	5	30				
								5.45	20	11	8	39	30				
								6.15	20	11	8	39	30				
								6.45	29	21	8	50	18				
								7.15	29	21	8	50	18				
								7.33	12	18	20	50	29				
								8.15	12	18	20	50	29				
								8.44	15	35	6	50	16				
								9.15	15	35	6	50	16				
								9.31	5	5	11	21	30				
								10.15	5	5	11	21	30				
								10.45	20	30	6	50	16				
								11.15	20	30	6	50	16				
								11.31	21	29	8	50	18				
								12.15	21	29	8	50	18				
								12.33	50	8	50	8					
								13.15	50	8	50	8					
								13.23	29	21	5	50	15				
								14.15	29	21	5	50	15				
								14.30									

No. 2 孔

ボーリング柱状図

調査名 南地区学習等共用施設改築工事地質調査委託

ボーリングNo. 000000105-1

事業・工事名

ボーリング名	No. 1 孔		調査位置	宇都宮市江曾島2丁目2384			北緯	
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成 7年 9月25日～ 7年 9月27日		東経	
調査業者名	バスキン工業株式会社 電話(0286-65-1201)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	-0.57m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種
総掘進長	13.00m	度		向		試錐機	エンジン	カノ KR-100型 ハンマー落下用具 コーンパーラー
						エンジン	ヤンマー NF-80型	ポンプ カノ V6-S型

シートNo.

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日				
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値								
-1.07	0.50	0.50	△△△	表土	茶褐	中位	軟	0.15mまでセームが主体 0.45mまで山砂及び砕石 下部ローム・軽石・粘土・盛土層	1.15	1	1	2	25	20	45	1				
-2.17	1.10	1.60	△△△	軽石	黄褐	軟	軟	粒径φ5m/m前後が主体 少量の腐植物混入 含水比・粘性上位	1.60	1	1	2	30	30		2				
			△△△	ローム	茶褐	軟	軟	2.6~3.0m間はやや硬い 3.2m付近から以深径φ1m/m 前後の軽石粒多く混入	2.15	1	1	2	30	30		3				
-4.07	1.90	3.50	△△△	粘土	灰	軟	軟	3.7m付近は特に砂分が多い 4.0mまで色調灰色を呈し砂分多 く含む 以深色調暗褐色に変化し少量の腐植 物含む 含水比・粘性中位	2.45	1	1	2	4	30		4				
			△△△	粘土	暗褐	軟	軟		3.45	1	2	1	4	30		4				
			△△△	粘土	暗褐	軟	軟		4.15	1	2	1	4	30		4				
			△△△	粘土	暗褐	軟	軟		4.45	1	1	2	4	30		4				
			△△△	粘土	暗褐	軟	軟		5.15	1	1	2	4	30		4				
			△△△	粘土	暗褐	軟	軟		5.45	2	1	2	5	30		5				
-7.07	3.00	6.50	○●○●	砂	灰茶褐	密	密	礫は径φ20~40m/mの歪円・ 亜角礫が主体 マトリックスは主に粗粒砂で充填 所々に径φ60~100m/m程度 の粗礫や玉石点在 8.8~9.5m間は砂分が特に多い 以深礫分多くなる 11.5mから少量の逸泥有り 全体にやや崩れ易い	6.15	2	1	2	5	30		5				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		6.45	11	12	17	40	30		40				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		7.15	11	12	17	40	30		40				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		7.45	50			50	7		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		8.15	7			50	7		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		8.22							16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		9.15	2	6	8	16	30		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		9.45				50	7		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		10.10				50	7		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		10.10				50	7		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		11.15	11	17	22	50	25		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		11.40				50	25		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		12.15	13	37	8	50	18		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		12.33				50	18		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		13.15	17	22	11	50	27		16				
			○●○●	砂	灰茶褐	密	密		13.42				50	27		16				

No. 1 孔